

数学X・Yの授業(理数数学Ⅱ・理数数学特論)における履修アンケート

本校では、総合理学科の生徒のみを対象として、数学の授業において普通科と違い、特別な措置を講じていました。具体的には、以下の2点です。

(1) 少人数授業

→普通科では、数学の授業はクラス単位で1人の先生が担当していましたが、総合理学科では、1クラスの約半分、すなわち、約20人に対して先生が1人ついて授業をしました。

(2) 「理数数学Ⅱ・理数数学特論」の履修

→普通科では、普通科よりも深い内容で実践しています。

(教科としては、「X→理数数学Ⅱ・Y→理数数学特論」という名称になっています)

これらの措置は、総合理学科のみに施された特別な措置ですが、神戸高校が指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の研究開発事業の一環として行われていたものから継承されているものでもあります。

ついては、この1年間の成果を見るべく簡単なアンケートを実施したいと思いますので、気軽に答えてください。選択式は該当する記号を○で囲んで、記述部分は□の中にそのまま記入してください。

1. 少人数授業について、回答してください。

(1) 「少人数授業」はあなたにとって良かったですか。

ア. 良かった
ウ. どちらでもない・わからない
オ. 悪かった
イ. どちらかといえば良かった
エ. どちらかといえば悪かった

2. 理数数学の履修について、回答してください。

(2) 総合理学科では、普通科と多少異なった深い内容で数学の単元を学習しましたが、これはあなたにとってよかったですか。

ア. 良かった
ウ. どちらでもない・わからない
オ. 悪かった (普通科と全く同じでもよかったなど)
イ. どちらかといえば良かった
エ. どちらかといえば悪かった

(3) 総合理学科では、授業の進度はあなたにとってよかったですか。

ア. 良かった
ウ. どちらでもない・わからない
オ. 悪かった (普通科と全く同じでもよかったなど)
イ. どちらかといえば良かった
エ. どちらかといえば悪かった

(4) 数学の授業を通して、次の力を伸ばすことができたと思いますか。

(i) 未知の問題に挑戦する力(課題に対して意欲的に努力することができる。)

ア. できた
ウ. どちらともいえない
オ. できなかった
イ. どちらかといえばできた
エ. どちらかといえばできなかった

(ii) 知識を統合して活用する力(課題に対して分類・図式化等によって解決する。)

ア. できた
ウ. どちらともいえない
オ. できなかった
イ. どちらかといえばできた
エ. どちらかといえばできなかった

(iii) 交流する力(積極的にコミュニケーションをとることができる。)や
質問する力(疑問に思う内容を、質問を前提にまとめることができる。)
について、伸ばすことができた点があれば記述してください。

3. 今年度は、7月に「統計的検定—p値で判断」の出前講義を行いました。 下記の設問に回答してください。

(5) 統計的検定の講義を受けて、課題研究などに活かすことは出来ましたか。

ア. できた
ウ. どちらともいえない
オ. できなかった
イ. どちらかといえばできた
エ. どちらかといえばできなかった

(6) 今後、出前講義(数学に関する内容)を受けるなら、どのような内容の講義が聴きたいですか。もしくは、受けたかったですか。自由に記述してください。

4. 最後に、少人数授業および理数数学の意見・感想・要望など何でも結構です。 自由に記述してください。

(7)

ご協力ありがとうございました。

3年でも皆さんの柔軟な思考を披露し、楽しい授業にしていってください。

締め切り：いますぐ集めます。